

報道関係者 各位

新型インフルエンザ患者の死亡について

11月12日、東京都より、新型インフルエンザ患者の死亡について、別添の通り情報提供がございましたので、お知らせいたします。

なお、患者の個人情報については、特段のご配慮をお願いいたします。

新型インフルエンザに関する東京都の対応等について(第246報)

(死亡例からの新型インフルエンザ確定について)

平成 21 年 11 月 11 日、都内で死亡した患者から、新型インフルエンザが検出されましたので、当該事例の概要等につき、以下のとおりお知らせします。

1. 患者概要

患者は、都内在住の 2 歳男児。神経系基礎疾患あり。

2. 病気の経過

平成 21 年 11 月 1 日 午後 40℃の発熱が出現。

11 月 2 日 近医の往診を受け、インフルエンザ迅速キット A 型陽性で、タミフルを処方された。

11 月 3 日 夕方 嘔吐を認め、都内医療機関を受診。40℃の発熱、呼吸困難、胸部レントゲン上、肺炎を認めたため、都内の別な医療機関を紹介され入院となった。タミフルは継続投与。一般病棟へ入院後、ステロイドが開始された。

11 月 8 日 午後 再び 40℃の発熱が出現。

11 月 9 日 午前 痙攣発作が出現し、その後心停止を認めたため、蘇生術を施行。人工呼吸器を装着されたが、午後 1 時頃インフルエンザ肺炎による死亡が確認された。

11 月 12 日 遺伝子検査の結果、新型インフルエンザが確定した。

なお、報道に際してはお亡くなりになった方及びご家族のプライバシーに十分配慮していただくようお願いいたします。